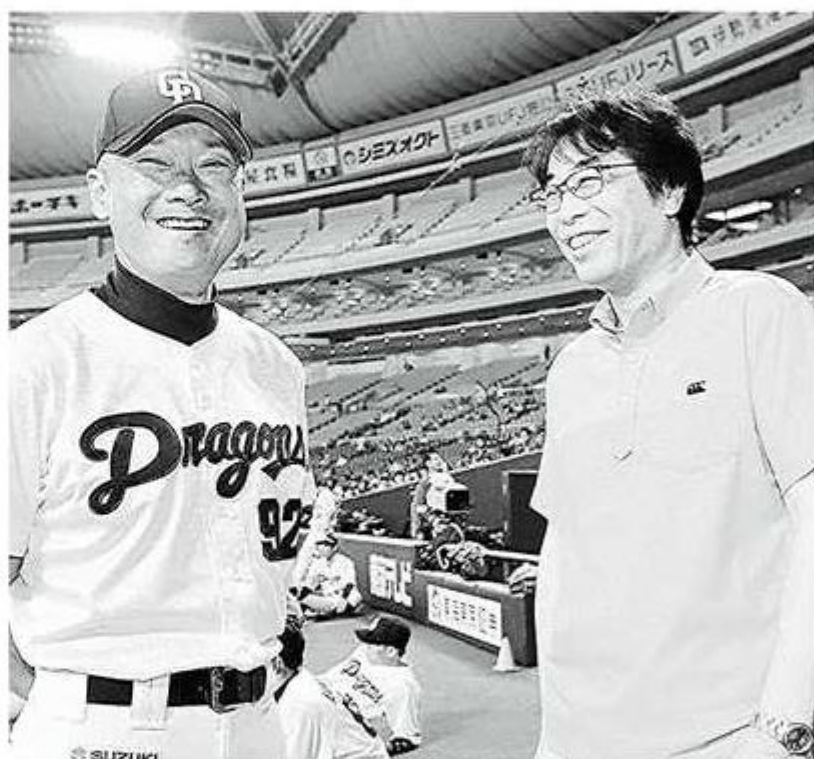


中日病院 だより

スポーツでは手関節や指などを受傷し、競技に支障をきたすことがあります。当院は、アスリートの手のけがの治療にも力を注いでいます。

手外科センターには、スポーツ愛好家から学生、実業団、五輪の日本代表、プロの選手など、さまざまなレベルの方が受診されます。競技の特性や選手的环境を十分理解した上で、病態を正確に評価します。練習再開や競技復帰までに必要な期間を明確にし、個々に手術やリハビリテーションを含めた治療計画を立て

⑪ スポーツによる手のけが(手外科センター)



試合前に、中日ドラゴンズの勝崎耕世チーフコンディショニングコーチ(左)と話す中尾悦宏副院長＝名古屋市東区のナゴヤドームで

ることが重要です。アスリートの治療に早期により高いパフォーマンスで競技に復帰でき、私たちがチームのコーチ、トレーナーの連携が不可欠です。最適な治療やリハビリに加え、段階的なトレーニング方法

を指導、実践し、選手が早期により高いパフォーマンスで競技に復帰できるように支援することが、重要な責務だと考えています。当院は、プロ野球中日(中尾悦宏副院長・談)

選手の復帰支援を重視

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎ 中日病院 052(961)2491

ドラゴンズの選手の健康診断や、メディカルチェック(運動機能の総合的評価)も担当しています。私を含め、名古屋地区の八人の整形外科医がチームドクターとして協力し、選手の障害予防、けがの治療、良好なコンディショニングの維持に取り組んでいます。選手がシーズンを通じて活躍し、好成績につながることを願っています。